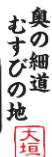


奥の細道むすびの地「大垣」 十六万市民投句

小中学生の部



奥の細道
むすびの地
大垣

令和六年八月度 入賞句一覧

投句数 三百 句

特選

高木 佐知子 選

音がする入道雲にご用心

大垣市

山田 詩音（小五）

遠くでゴロゴロと鳴る雷の音が気になつていのでしようか。どこからとなく空にとどろく音が近づいてくることを予感している作者の心のざわつきが読み取れます。雷を連想させる工夫ある一句に惹かれました。周りに向かつて言っているはずの「ご用心」は、実は自分自身に言っている言葉なのでしょう。とても和やかな一句になりました。

朝顔が水がほしいとつるのばす

大垣市

加代 杏奈（小五）

今年も日本各地で猛暑を記録する厳しい夏になりました。汗をいっぱいかいた後に飲む水は、とても美味しいものです。夏の朝、日の出とともに赤色や青色の花びらをひらく朝顔も水を欲しがっていると擬人化し、その様子を「つるのばす」と表現したところが見事です。大地に根を張る植物の悲痛な声が作者の耳に届いたのでしょうか。たつぷり水をあげてくださいね。思いやりのある一句になりました。

静寂の空にとけゆく鈴虫一つ

中津川市

可知 柚七（中三）

夕方、少し涼しげな風に秋の気配を感じる中、鈴虫の美しく優しい羽音が辺りの静寂を一層際立たせることがあります。リーンリーンという音色が聞こえてきます。澄んだ響きの音色は鈴虫の命の声です。中七の「空にとけゆく」ものは、鈴虫の鳴き声であり、姿であり、命なのでしょう。下五の「鈴虫一つ」に込めた作者の思いが、生きることの輝きを表しているようです。崇高な一句になりました。

秀逸

夏野菜いろとりどりのごちそうだ

大垣市

柳瀬 才嬉（小五）

かき氷氷の山をのぼってく

大垣市

松浦 初美（小五）

つゆの朝大つぶの雨屋根たたく

大垣市

後藤 彩乃（小五）

受験日は時計がいじわる危機せまる

加茂郡川辺町

渡辺 かやの（中三）

あせかいてリズムに合わせダンスする

大垣市

市川 珠理（小三）

入選

涼風が山のふもとをかけめぐる

大垣市

廣畑 晴喜（小五）

スイカわりめかくしつけてぱくとわる

大垣市

中町 こうよう（小五）

ベランダで家族皆でかき氷

大垣市

浅井 湊真（小五）

夏の地面犬は素足で散歩中

大垣市

稲川 栞奈（小五）

ふうりんのあいずでみんな集まるよ

大垣市

兒玉 琉花（小五）

梅雨明けの青に染まった広い空

中津川市

吉村 航（中三）

あぜ道を歩いてみるとアマガエル

中津川市

松井 湊斗（中三）

浴衣着て向かう先には人の波

中津川市

黒崎 日菜多（中三）

はんしやしたもやいぶね見る夏の川

大垣市

金森 なな子（小六）

水遊び笑顔あふれる祖母の家

美濃加茂市

三輪 りつか（小三）

選者吟

地藏盆赤き刺し子のよだれ掛け

佐知子



小中学生の部